

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社TOKAIホールディングス

コード番号 3167 URL <http://tokaiholdings.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鴫田 勝彦

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員

(氏名) 小澤 博之

TEL 054-275-0007

四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	43,038	△0.7	648	△62.3	549	△63.2	149	△72.7
25年3月期第1四半期	43,339	3.9	1,718	0.6	1,494	△0.7	549	62.2

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 252百万円 (△53.7%) 25年3月期第1四半期 545百万円 (242.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	1.31	—
25年3月期第1四半期	5.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	171,202	33,582	19.1	285.47
25年3月期	177,642	34,011	18.6	289.34

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 32,681百万円 25年3月期 33,102百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	85,400	2.1	1,080	△58.0	670	△68.9	△270	—	△2.36
通期	188,400	3.7	9,160	2.5	8,370	3.8	3,530	14.4	30.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	155,199,977 株	25年3月期	155,199,977 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	40,716,247 株	25年3月期	40,791,572 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	114,434,353 株	25年3月期1Q	99,935,334 株

(注)自己株式数には、従業員持株会型ESOP信託口が所有する当社株式数1,245,300株を含めております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安・株高の進行を背景に企業収益の改善や消費の持ち直し等回復の動きが見られた一方で、海外経済の減速懸念等により、先行きが不透明な状況となりました。

そのような状況下、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績については、売上高は43,038百万円（前年同期比0.7%減）と、ほぼ前年同期の水準を確保しましたが、アクア事業の全国展開に伴う営業費用の増加等により営業利益は648百万円（同62.3%減）、経常利益は549百万円（同63.2%減）、四半期純利益は149百万円（同72.7%減）となりました。

なお、当社グループの当第1四半期末におけるコンシューマー向けサービスの顧客件数は、新規顧客獲得が順調に進んだこと等により、期首から26千件増加し、2,471千件となりました。

また、当社グループが提唱する、お客様の快適な生活を総合的、且つきめ細やかにサポートする“TLC（Total Life Concierge トータルライフコンシェルジュ）”の一環として、平成24年12月より開始した「TLC会員サービス」（当社グループが提供するサービスのご利用に応じてポイントを還元するサービス）の会員数は、当第1四半期末で期首から73千件増加の178千件となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、従来「ガス及び石油」に含めていた「アクア」を、事業としての重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。以下の業績については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えて比較しております。

（ガス及び石油）

液化石油ガス事業につきましては、需要案件数は期首と変わらず577千件となりました。また気温の影響やお客様の節約志向の高まり等により、LPガスの販売数量が前年同期を下回ったため、売上高が前年同期を下回りました。

これらにより、当部門の売上高は21,940百万円（同6.1%減）、営業利益は492百万円（同33.6%減）となりました。

（建築及び不動産）

建築及び不動産事業につきましては、新築住宅や設備機器の販売が好調に推移したことに加え、総合リフォームサービスについても「TOKAI W i L L リフォーム」（W i L LはWe Will Link Lifeの略）ブランドの浸透により、着実に成果を上げてまいりました。

これらにより、当部門の売上高は3,419百万円（同21.9%増）、営業利益は28百万円（前年同期は96百万円の損失）と黒字に回復しました。

（CATV）

CATV事業につきましては、引き続き、地域社会への情報発信の強化に取り組んだ結果、放送サービスの顧客件数が期首と変わらず504千件となり、通信サービスの顧客件数が期首から3千件増加し189千件（CATV-F T T H128千件、CATVインターネット61千件）となりました。

これらにより、当部門の売上高は5,970百万円(同1.4%増)となりましたが、顧客獲得費用や中止防止費用が増加したこと等により、営業利益は167百万円(同25.1%減)となりました。

(情報及び通信サービス)

ブロードバンド事業につきましては、大手家電量販店などの取次店各社及びF T T Hキャリア事業者との提携によるF T T Hの新規顧客獲得が順調に推移し、顧客件数は期首から17千件増加し、821千件となりました。また、平成25年4月から、西日本エリアにおける情報通信サービスを本格的に開始しました。

これらにより、当部門の売上高は9,414百万円(同2.7%増)となりましたが、F T T Hサービスの顧客獲得費用の増加並びに西日本エリアの先行費用等により、営業利益は489百万円(同54.9%減)となりました。

(アクア)

アクア事業につきましては、顧客件数が期首から3千件増加し105千件となりました。

静岡県内の顧客基盤を活かした事業展開に加え、関東市場をはじめとした本格的な全国展開を開始しました。宅配水ワンウェイサービスのブランド名を「おいしい水の贈りもの うるのん」に改めるとともに、「ドラえもん」をイメージキャラクターに起用する等子育て主婦層をターゲットとしたブランド戦略を展開したほか、大型商業施設や家電量販店の店頭とLPガス直販ルートの両面からFace to Faceの営業に取り組みました。

これらにより、当部門の売上高は942百万円(同5.7%増)となりましたが、「うるのん」ブランド戦略や顧客獲得に係る費用の増加等により、営業損失は552百万円(前年同期は239百万円の損失)となりました。

(その他)

介護事業につきましては、「リフレア清水駒越(デイサービス施設)」及び「リフレア聖一色(ショートステイ施設)」の利用状況が順調に推移し増収となりました。婚礼催事事業につきましても、婚礼挙式組数が増加したことにより増収となりました。

これらにより、当部門の売上高は1,350百万円(同10.7%増)、営業利益は60百万円(前年同期は57百万円の損失)となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は171,202百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,440百万円の減少となりました。

これは主として、現金及び預金が1,042百万円、受取手形及び売掛金が3,970百万円、減価償却等により有形固定資産が241百万円及び無形固定資産が656百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は137,619百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,012百万円の減少となりました。

これは主として、支払手形及び買掛金が2,307百万円、有利子負債の圧縮に努めたことにより

借入金が3,377百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は33,582百万円となり、前連結会計年度末に比べ428百万円の減少となりました。

これは主として、四半期純利益149百万円、その他有価証券評価差額金103百万円がありましたが、剰余金の配当により693百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は19.1%（前連結会計年度末は18.6%）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末から1,042百万円減少し3,074百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により得られた資金は7,725百万円（前年同期比1,022百万円の増加）となりました。これは主として、仕入債務の減少による資金の減少がありましたが、売上債権の減少による資金の増加、減価償却費及びのれん償却額の非資金項目があったこと等によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は3,407百万円（同1,169百万円の増加）となりました。これは主として、有形及び無形固定資産の取得による支出によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は5,368百万円（同1,442百万円の増加）となりました。これは主として、借入金の返済による支出等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績が概ね予定通り進捗しており、平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年5月9日に公表いたしました通期連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,235	3,192
受取手形及び売掛金	20,944	16,973
商品及び製品	6,383	6,003
仕掛品	859	494
原材料及び貯蔵品	899	785
その他	7,435	7,598
貸倒引当金	△406	△381
流動資産合計	40,351	34,666
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	45,597	45,031
機械装置及び運搬具(純額)	22,829	22,449
土地	21,799	21,799
その他(純額)	16,375	17,080
有形固定資産合計	106,602	106,361
無形固定資産		
のれん	12,632	11,886
その他	2,273	2,363
無形固定資産合計	14,906	14,249
投資その他の資産		
その他	16,432	16,617
貸倒引当金	△793	△822
投資その他の資産合計	15,638	15,795
固定資産合計	137,147	136,406
繰延資産	143	128
資産合計	177,642	171,202

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,019	10,711
短期借入金	44,454	45,480
1年内償還予定の社債	4,160	4,160
未払法人税等	1,503	845
引当金	1,481	157
その他	17,944	18,795
流動負債合計	82,563	80,150
固定負債		
社債	7,160	7,160
長期借入金	36,933	32,529
引当金	1,454	1,605
その他	15,520	16,174
固定負債合計	61,068	57,469
負債合計	143,631	137,619
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,000	14,000
資本剰余金	22,183	22,183
利益剰余金	4,225	3,681
自己株式	△8,313	△8,293
株主資本合計	32,096	31,571
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,001	1,104
為替換算調整勘定	5	4
その他の包括利益累計額合計	1,006	1,109
新株予約権	324	322
少数株主持分	584	578
純資産合計	34,011	33,582
負債純資産合計	177,642	171,202

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	43,339	43,038
売上原価	26,926	27,196
売上総利益	16,413	15,842
販売費及び一般管理費	14,695	15,194
営業利益	1,718	648
営業外収益		
受取利息	9	6
受取配当金	60	70
設備賃貸料	52	52
その他	124	142
営業外収益合計	246	273
営業外費用		
支払利息	391	305
その他	78	66
営業外費用合計	470	371
経常利益	1,494	549
特別利益		
固定資産売却益	2	0
伝送路設備補助金	15	17
投資有価証券売却益	—	106
特別利益合計	17	124
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	357	185
投資有価証券売却損	1	—
投資有価証券評価損	241	—
特別損失合計	600	185
税金等調整前四半期純利益	911	488
法人税、住民税及び事業税	994	793
法人税等調整額	△635	△454
法人税等合計	358	338
少数株主損益調整前四半期純利益	552	149
少数株主利益又は少数株主損失(△)	3	△0
四半期純利益	549	149

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	552	149
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	103
為替換算調整勘定	—	8
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△8
その他の包括利益合計	△6	103
四半期包括利益	545	252
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	542	252
少数株主に係る四半期包括利益	3	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	911	488
減価償却費	3,523	3,646
のれん償却額	841	746
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△934	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,222	△1,243
受取利息及び受取配当金	△69	△77
投資有価証券売却損益 (△は益)	1	△106
支払利息	391	305
固定資産売却損益 (△は益)	△2	△0
投資有価証券評価損益 (△は益)	241	—
固定資産除却損	357	185
売上債権の増減額 (△は増加)	4,637	4,206
たな卸資産の増減額 (△は増加)	243	859
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,709	△2,180
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△137	△80
未払費用の増減額 (△は減少)	2,428	2,626
その他	△99	△226
小計	8,403	9,148
法人税等の支払額	△1,699	△1,423
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,703	7,725
投資活動によるキャッシュ・フロー		
利息及び配当金の受取額	81	88
有価証券の取得による支出	△2	△184
有価証券の売却による収入	3	123
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,917	△3,671
有形及び無形固定資産の売却による収入	67	46
工事負担金等受入による収入	31	18
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	508	—
貸付けによる支出	△0	△21
貸付金の回収による収入	47	21
その他	△55	171
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,237	△3,407
財務活動によるキャッシュ・フロー		
利息の支払額	△382	△287
短期借入金の純増減額 (△は減少)	4,200	2,100
リース債務の返済による支出	△835	△991
長期借入金の返済による支出	△6,345	△5,477
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の処分による収入	—	16
配当金の支払額	△441	△607
少数株主への配当金の支払額	△6	△6
その他	△114	△114
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,925	△5,368
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	7
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	540	△1,042
現金及び現金同等物の期首残高	2,432	4,116
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,972	3,074

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ガス及び 石油	建築及び 不動産	C A T V	情報及び 通信サー ビス	アクア	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	23,365	2,806	5,888	9,167	891	42,119	1,220	43,339	—	43,339
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	61	260	264	713	3	1,302	25	1,327	△1,327	—
計	23,426	3,066	6,152	9,881	894	43,422	1,245	44,667	△1,327	43,339
セグメント利益 又は損失(△)	742	△96	223	1,086	△239	1,716	△57	1,658	59	1,718

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、婚礼催事事業、船舶修繕事業、保険事業、介護事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ガス及び 石油	建築及び 不動産	C A T V	情報及び 通信サー ビス	アクア	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	21,940	3,419	5,970	9,414	942	41,688	1,350	43,038	—	43,038
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	47	969	238	660	4	1,921	52	1,974	△1,974	—
計	21,988	4,389	6,209	10,075	947	43,610	1,402	45,012	△1,974	43,038
セグメント利益 又は損失(△)	492	28	167	489	△552	626	60	687	△39	648

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、婚礼催事事業、船舶修繕事業、保険事業、介護事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間から、「ガス及び石油事業」に含まれていた「アクア事業」について、事業としての重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。